

埋蔵文化財研究室(施設)が完成しました！

建物外観

本社1階の駐車場部分に埋蔵文化財研究室(施設)を増設しました。



施設内設備

- 施設は、三方向の窓とLED照明により、スペースの隅々にまで明るさが行き届きます。
- 施設内の窓は、全て二重窓を採用。防音性・断熱性が高く、結露によるカビを防ぎ、防犯の面でも効果を発揮します。貴重な遺物を守ります。



- 机は備付けと可動式の2種類。両方とも奥行き90cm以上の広い机上スペースを確保。備付けの机には足元に1段棚を設け、収納性も兼ね備えています。可動式の机は、打合せや作業内容に応じて配置変更可能で、作業性を考慮した設備となっています。

寸法(備付け)長さ638×奥行き92×高さ74.5cm
(可動式)長さ184×幅93×高さ74.5cm・・・2台



- 備付けの棚には、地震による落下を防止する落下防止ガードを設置。遺物の落下・転倒から人と遺物を守ります。

広い棚には遺物の保管コンテナ箱も大容量収納可能です。

寸法(外寸)幅321×奥行き59×高さ227cm
(内寸)幅317×奥行き55×高さ40cm・・・5段
(一番下のみ高さ60cm)



- 施設内には、流し台を設置。発掘調査で出土した遺物の洗浄を行うことができます。